



湿度の高い梅雨の季節、大人も子どもも不快に感じる事が多くありますね。肌で気温を感じたり汗をかくことは体にとって大切なことです。涼んだり汗を流すと気持ち良くなることで、快と不快の違いをはっきり感じられるようになります。水分補給も行ないながら、梅雨を乗り越えていきましょう。



7月の予定

2日(火) 保育コンシェルジュ 10:00~11:00

3日(金) 親子でダンスを楽しもう 10:50~11:05

5日(金) 七夕制作(足型をとります) 10:00~16:00

10日(水) 身体測定 10:00~16:00

12日(金) 水遊び開始 11:15~11:45

*この日から毎週月・水・金曜日水遊びを行ないます

(1歳~3歳までの親子が対象となります)

水遊びについては別途で手紙を発行します)

18日(木) 誕生日会 11:30~12:00

25日(木) お野菜朝の会 11:30~12:00

たなばたさま

1、笹の葉 さらさら 軒端に揺れる

お星さま きらきら

きんぎん すなご

2、五色の短冊 私がかいた

お星さま きらきら

空から 見てる



~ 絵本のある子育て ② ~



4月号に続き、『絵本のある子育て』の第2回目です。絵本がいいのはわかるけれど、絵本を生活の中に取り入れるのは難しい、日々どれくらいの冊数を読み聞かせればいいのか、どんなふうに読んだらいいのかかわからない、と考えることも少なくないかもしれません。

当然、子どもによって好みの絵本は違います。絵や色彩を好むこともあれば、言葉や文章のリズムを好むこともあります。第1回目でもお伝えした通り、読み聞かせている大人の声や抱っこ、膝に座ることを好む場合もあります。いくつか読み聞かせてみて、子どもがどんなことを好んで絵本の時間を楽しんでいるのか探ってみましょう。また、好みに違いがあるのと同様に、集中力も各々違います。じっとしていることを好まない子や、次々に新しい絵本を開きたい子もいます。子どもの好みに合わせて進めていきましょう。取り入れることが難しいときには、毎日決まった生活リズムの中に絵本の時間を取り入れていくという方法もあります。食後や就寝前などに絵本を楽しむ時間をつくること習慣化しやすくなりますが、子どもの姿やご家庭の生活リズムに合わせて無理なく楽しめたらいいですね。

優れた絵本は、子どもの心の動きをたくさん想像して作られています。絵の配置、色彩、場面展開(ページをめくる)そして、文章の量やリズムまで細かく考えられているのです。登場人物によって声色を変えたり、解説を加えたり、面白く読んだりする必要はありません。けれども、子どもからは疑問や質問、つぶやきがたくさん飛び出すことでしょう。大人数の読み聞かせでは全てに答えることは難しいのですが、ご家庭では是非答えてあげてください。そういったやり取りこそが、ご家庭での読み聞かせの醍醐味で、大切なコミュニケーションの一つとなるからです。